

実験の実務 ～実験条件・パラメーターの考え方と結果解釈～

日時	案内メール、HPをご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の実務担当者（若手、中堅） ・指導するリーダー、管理者 ・新入社員、若手 	得られる知識、スキル <ul style="list-style-type: none"> ・実験パラメーターの選び方 ・実験条件の考え方、決め方 ・実験結果の解釈
概要	<p>実験を考えるというプロセスの中で最も重要なものに実験パラメーターの選択と実験水準の設定、そして、実験結果の解釈があります。多くの方にとって悩みの種であると同時に、適切に検討されていないという実態があります。とりあえず温度を変えてみようか、とりあえず振ってみるか、といった「思い付き実験」や「とりあえず実験」といった無駄な実験が散見されます。これは、実験を検討するという点について適切な教育が行われておらず、各自の独断で進められていることが理由の一つとして挙げられます。実験計画法といったものもありますが、適用するためには自身でパラメーターを設定する必要があります。</p> <p>本セミナーでは、パラメーター選択から、実際の実験水準としての条件設定の考え方、結果解釈について、事例を交えながら詳細に解説します。</p> <p>ケーススタディー、実践演習以外に、要所で学びの確認と深化のための修得演習を行います。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 【イントロダクション】 実験の本来の意味と役割、開発との関係性など基本となるものをイントロダクションとして解説します。 ● 【駄目な実験の典型】 無駄な実験、駄目な実験とはどういったものかを例示しながら、そのような実験をしないために、言わば反面教師として示しながらなぜそうなるのかということも含めて解説します。 ● 【実験の基盤】 パラメーターや条件の基盤となる実験ストーリーの考え方や実験プロセスへの落とし込みなどについて基本となる部分を解説します。 ● 【パラメーターと条件の基本】 実験パラメーターと実験条件としての条件（実験水準、パラメーターの振り方）を考える基本となる部分を実験マトリクスなども踏まえながら解説します。 ● 【パラメーターの考え方】 具体的にどのようにしてパラメーターを選ぶのかについて、KGI、KPI といった考え方、特性要因解析やパラメーター相関などを取り入れながら解説します。 ● 【条件（実験水準）の考え方】 選択した実験パラメーターについて、具体的にどのように実験水準（範囲や値の取り方など）を設定していくのかを、実験効率や繰り返し数なども含めながら解説します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【結果取得（分析・評価）】 実験結果を可視化するために必要不可欠な分析・評価について、その分類を示すと共に選択の考え方について解説します。 ● 【結果（データ）解析】 実験、分析・評価によって得られた結果をどのように解析して、解釈していくのかについて、様々な解析視点と共に解説します。 ● 【実験誤差・精度】 結果解析、実験の是非を判断するための重要指標である誤差、精度の考え方と管理について解説します。 ● 【実験のための情報収集】 実験内容そのものから、パラメーター選択、実験水準などを検討するにあたって必要不可欠な情報集について、実験設計という観点で解説します。 ● 【ケーススタディー】と【実践演習】 実際の実験を例として、実際にどのようにパラメーターを選択して、水準を考えるのかについて、ケーススタディー、実践演習として解説します。 ● 【まとめ】と質疑 <p style="text-align: center;">詳細は、HP をご覧ください</p>	
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>
e-mail : haru777@star.email.ne.jp